

大阪湾のヤドカリ調べ ～岸和田市立光陽中学校科学部との連携事業～

柏尾 翔

春先に潮の引いた磯場へ行くと、潮溜まりでいろいろな生き物を観察することができます。その中でも、巻貝の殻を背負ってせっせと歩き回り、一際目立っているのがヤドカリです。エビやカニと同じ仲間のヤドカリは、大きなハサミももたず、安全に触れることから、磯観察の人気者でもあります。また、最近では小学校の教科書で題材として取り上げられることもあり、子供たちにとっては割と馴染みのある生き物ではないでしょうか。

そんなヤドカリですが、私たちの身近にある大阪湾でごく普通に見られるというのは案外知られていません。岸和田市内でも、ちきりアイランドにある阪南 2 区人工干潟で、一年を通して観察することができます。しかし、ヤドカリが大阪湾に何種類生息しているのか、どのような環境にすんでいるのかについては、今まで十分に調査が行われてきたとは言えず、明らかにされていないことが多くあります。

今年度きしわだ自然資料館では、日本財団「海の学び調査研究サポート」の助成を受けて、岸和田市立光陽中学校科学部と連携をして大阪湾のヤドカリ類相調査を実施しました。今回は、その概要について報告します。

文献と標本から大阪湾における過去のヤドカリ類相をさぐる

大阪湾のヤドカリ類相を明らかにするためには、今までにどんな種類が見つまっているのかを調べる必要がありました。そこで、科学部の生徒たちと一緒に過去に報告された論文の中から大阪湾で見つかったヤドカリ類に関する記述を探し、既知種のリスト化を行いました。また、博物館に収蔵されている標本も、過去にその生き物が生息していたことを示す資料となることから、大阪市立自然史博物館に保管されている標本から大阪湾産のヤドカリ類の記録を拾い出す作業も同時に行いました(図 1)。

調査の際には、大阪市立自然史博物館の石田惣学芸員から、博物館の収蔵標本に関する講義に加え、ヤドカリ以外の海岸生物や植物標本、大阪湾に打ち上がったクジラの骨格なども見せてもらうことができました。普段は見ることができない博物館の裏側ということもあり、生徒たちは熱心に見学をしていました。



図 1. 大阪市立自然史博物館での調査

大阪湾でヤドカリ探し

文献調査により明らかとなった結果をふまえ、調査が不十分なポイントや時期に注目して、フィールドでのヤドカリ調査を行いました。2017年8月25日には、科学部の生徒たちとともに和歌山市加太の城ヶ崎海岸で調査を実施しました。本調査地は、大阪湾の湾口部に位置しており、外洋水の影響を強く受けることから様々な生き物を見ることができます。ここで、最も潮の引く時間帯に、磯場のタイドプールにすむヤドカリ類の生息状況調査を行いました



図 2. 和歌山市加太城ヶ崎海岸でのヤドカリ調査

(図 2)。調査時には、ヤドカリと同じ環境にすむ巻貝やカニ類も採集し、最後に見つかった生き物の同定会も簡単に行いました。晴天だったこともあり、生徒たちは疲れたと思いますが、大阪湾の生き物の多様さや豊かさを知る良い機会になったのではないのでしょうか。それ以外にも、泉南郡岬町にある青少年海洋センターに行き、浮き桟橋に設置されているカニ籠から海の少し深いところにすむヤドカリ類の採集もしました。冬期の夜間調査など、科学部の生徒の参加が難しい場合には、資料館の職員が採集を行い、後日のクラブ活動の時間に生徒たちと名前調べやサイズの測定、雌雄の判別等の記録を行いました。

成果をまとめて発表

本調査の結果、大阪湾からは約 20 種類のヤドカリ類が生息していることが確認でき、そのうちの少なくとも 5 種類は今回の科学部との共同調査で初めて採集された大阪湾初記録種であることが明らかとなりました。

調査により採集されたヤドカリ類は、生徒たちと共同で 1 種ずつ写真撮影を行い、特徴や分布情報をまとめて大阪湾ヤドカリ図鑑を作成しました。また、大阪湾に生息するヤドカリ類とその生息環境について、2018年2月12日に開催された第 16 回「私の水辺大発表会」で発表を行いました (図 3)。この発表会では、同じ泉州地域で活動している他団体との交流もでき、生徒たちにとって今後の活動につながる貴重な機会になったのではないかと思います。



図 3. 私の水辺大発表会での発表

助成事業は今年度限りであり、継続して同様の規模で調査を行うことができるかはわかりませんが、きしわだ自然資料館では今後もこのように学校活動のサポートを実施していく予定です。もし興味がありましたら、是非一度ご相談ください。

(かしお しょう：自然資料館学芸員)

池上曾根弥生学習館は、弥生時代の大集落“史跡池上曾根遺跡”の北部にあります。弥生時代をみて・きいて・さわって体験してもらう場所として、平成13年（2001）に池上曾根史跡公園と同時にオープンしました。館は展示ホールとガイダンスルーム、アトリエにわかれています。



池上曾根弥生学習館(外観)

展示ホールは、その名の通り、池上曾根遺跡から出土した遺物を展示しています。展示といっても「モノ」がガラスケースに入っているだけではありません。展示ホールの床全体がガラス張りになっており、「1995年のある日の発掘現場」を上

から見下ろすように見学できる仕掛けになっています。池上曾根史跡公園で復元されている大型建物と大型井戸が見つかった時の様子をそのまま見学することができます。

ガイダンスルームには、線画が描かれた大きな壁があり、たくさんの引き出しが隠されています。引き出しをあけると、ひとつひとつに弥生時代や池上曾根遺跡のヒミツが入っています。本物の土器をさわることができたり、銅鐸の音が聞こえたり、卑弥呼の衣装が入っている引き出しなどもあります。「自分で探す」子どもたちに人気の展示です。



弥生時代のものづくり体験をしてもらうアトリエは、勾玉づくりや土器づくり、簡単な織りなどのメニューを、いつでも・だれでも気軽に体験してもらえるスペースです（団体は要予約）。なかでも一番人気は勾玉づくりです。弥生時代には特別な人しか持つことができなかつた勾玉を自分でつくることができます。「ろう石」という柔らかい石を紙やすりで粗磨きした後仕上げ磨きをして、1時間くらいで完成です。自分で作ったぴかぴかの勾玉は子どもたち



人気の体験メニュー・土器づくり（上）と勾玉づくり（下）

の宝物。「できた！」と満面の笑みを見せてくれます。持ち帰り用の勾玉づくりキットも販売していますので、持ち帰って学校内で実施していただくこともできます。

ほかにも、予約してできる個人向け体験メニューも用意しています。棒ガラスをバーナーで溶かして作る「ガラス玉講座」や、田植えから稲刈り、火おこし、炊飯までを体験する「稲作体験講座」など、多くのコンテンツを用意しています。来るたびに新しい発見と体験が待っている学習館に、ぜひ遊びにきてく

ださい。

開館時間：午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）入館無料・体験学習は実費

休館日 月曜日 住所 泉大津市千原町 2 丁目 12-45

電話 0725-20-1841 F A X 0725-20-1866

- ・団体の予約は利用日から 2 ヶ月前の月初めから予約できます
- ・観光バス（大型バス）の駐車スペースあります

ホームページ：<http://www.city.izumiotsu.lg.jp/mokuteki/shisetsu/1428469171415.html>

（おくの みわ：泉大津市教育委員会生涯学習課文化財係）

Information

自然資料館の行事

●写真展「第 22 回ネイチャーフォト写真展」

毎年恒例の自然の写真展です。普段は気づかないような自然の姿が見られるかもしれません。

日時：2018 年 4 月 14 日（土）～5 月 5 日（祝）

10:00～17:00（入館は 16 時まで）

・毎週月曜日・5 月 1 日休館

場所：きしわだ自然資料館 1 階ホール（堺町 6-5）

費用：無料

●自然資料館ミニ実習

日曜日と祝日、自然資料館では来館者を対象とした、工作や自然観察に関する行事を行っています。授業やクラブ活動で役立つ内容も多いです。おとなの方だけの参加も大歓迎です。

時 間：14:00～16:00

定 員：20 名（保護者含む）

対 象：3 歳以上（小学生以下は保護者同伴）

場 所：きしわだ自然資料館 2 階ミニ実習コーナー

日程と内容

4 月 8 日（日）東北遠征団の翼竜缶バッジづくり

4 月 15 日（日）プルタブでキシワダワニをつくろう

4 月 22 日（日）チリメンモンスターをさがそう

4 月 29 日（祝）私だけのオリジナル絵本をつくろう

4 月 30 日（月）ジオマグであそぼう

5 月 3 日（祝）歴史館いずみさのがやってきた！

5 月 4 日（祝）チョウの鱗粉転写と野草茶試飲

5 月 5 日（祝）二上山の砂からガーネットをさがそう

5 月 6 日（日）チリメンモンスターをさがそう

5 月 27 日（日）化石のレプリカをつくろう

6 月 3 日（日）カイコであそぼう

6 月 17 日（日）チリメンモンスターをさがそう

6 月 24 日（日）羊毛フェルトでスナネズミづくり

岸和田城の展示

●よみがえる甲冑、かがやく刀剣

日 時：2018 年 2 月 21 日（水）～6 月 10 日（日）

10:00～17:00（入館は 16 時まで）

休館日：毎週月曜日 4 月 2 日、9 日、30 日は開場

場 所：岸和田城天守閣 2 階展示室（岸城町）

費 用：高校生以上 300 円・中学生以下無料

※お願い [fromM] は、学校教職員に 1 部ずつお配りください。

担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5 きしわだ自然資料館

TEL: (072) 423- 8100 FAX: (072) 423- 8101

Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp

きしわだ自然資料館ホームページ URL:

<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>

岸ぶら「きしわだ自然散歩ワニ目線」

<http://kishibura.jp/blog/shizen/>